

皆さん…

鹿野の人口が更に1,000人以上も減少…!!

どう

お思いですか…!!

※平成42年 鹿野の人口が3,5割も減り2227人に、そんな周南市の試算が発表されています!!

【エ〜っ どうなるの…】

■そこで、私達「鹿野の風」プロジェクトが皆様に知って頂きたいとチラシにしました、急激な高齢化や人口減はとても深刻です。あの綺麗に刈られた自慢の田園風景…、数年後には雑草は伸び子供達の笑い声も消えるかも知れません。

只そんな状況下で高速道路や地理的好条件等の影響も有るのか7〜8年前から、おしゃれなcaféや農家レストランが次々と開店、そのお店の店主達が集まり交流人口を増やし地域を元気にしようとして平成22年6月に「鹿野の風」プロジェクトを結



初回からの手作りチラシ

県内の主要な店舗に置かせて頂いているマップ

成。設立当初は地元夏イチゴを使って7つのお店が自慢のスイーツを作り期間限定で売出したところ、TVや新聞で報道された事もあり、山間部に多くの方が押し寄せ企画は大成功。その後四季折々の材料を変えて次々に実施し、全て大盛況と思っ

ていましたが…、実は2年目を迎える頃から「一挙に人を呼ぶイベント的企画は鹿野の魅力がネ〜え」そんな声も多く届き、「鹿野の時間の流れ…」や「不便さは鹿野の大きな武器」だと言う事に気付き、10回続いた起死回生企画も思い切って断念、目先の交流人口を増やす事から時間が幾ら掛かっても「心地いい…」を提供する事を決め、雑木(コナラ)を植え成功した先進地の熊本や大分に仲間と何度も視察に行き悩み悩んで出した結果は!!

【心地いい…里山の景観作りに挑戦!!】

■平成25年2月から店舗周辺に統一感を持たせて雑木を植える活動を開始しました。確かに急激な方向転換は、最初は皆さんの納得を得る事はとても困難でしたが理解も深まり連携する事の大切さを知りました。



対策を怠れば空家も増加し…



チラシで地域に雑木を植える事を宣言

■只大きな問題として、仲間も商いをしている関係上、全体の集客は増やさないと会の存続に関わる大問題、そこで考え出されたのが県内のcaféや美容院・道の駅・ケーキ屋・carディーラー等に我々のお店マップを置いて頂く作戦を行いました。意外にこの方法は、狙い定めた層に確実に伝わりマップ片手に鹿野のお店を散策、そんな光景も見かける事も多くなり、今後も里山に新たなお店が増える度に刷り直し県内外に配布を計画、同時に地域全体の集客増に繋がる仕掛けを定期的に行う予定です。

【起業家を支援…】

■不思議なもので思いを持って活動を続ければ、偶然にも里山で起業したいと県外からの若い夫婦が「革靴のオーダーの店を開きたい」と尋ねて来られ、仲間や行政と接触し古民家も見つかり、今春新規に街中に開店が進むと同時に、大潮地区にも「ギャラリー」がOPENします。実は私達の活動を開始して新規にオープンした店はcaféが2店舗、今回で4店舗目に成ります。更に昨年暮れに「鹿野で店を開きたい方々応援します」とチラシで呼掛けすると、10人以上も集会に参加され、中には若い女性も数名と地域の底力と可能性を感じ、微力ながら力に成りたいと願っています。



4月に開店が進む福山夫婦

【気付かなかった地域の宝…】

■更に偶然が続き、貴重な「山野草のエキ保護」の話が、我々会の耳に入り、山野草は多くの人々を里山に引寄せ、私達のお店を育てて頂いた事もあり、簡単に保護活動を引受けてしまい、後で少々後悔もしましたが、結果的にこれが私達の活動範囲を広げ、新たな可能性と活動の原動力に必要な人材の接着剤にも成り、大変嬉しく有難い事と故伊藤芳高さんに深く感謝しています。



初めて雑木(コナラ)を植える

■ここで山野草について少し触れて見ます「山野草とは、高い山や自然環境でしか育たない、人の手を加えない、貴重な原種の花なのです」その花々が多く育ち守られているのが、偶然にも私達が住んでいる里山・鹿野なのです。その鹿野には、**1, 弟見山 1004 ㍎**の尾根には「カタクリの可憐な花」が2〜3百㍎も群生が続き、そのスケールの大きさと美しさに言葉を失う程。**2, 長野山 1015 ㍎**山頂付近には貴婦人とも言える優しい「ササユリの花」が見事に咲き乱れ。**3, 静寂な空気の中で清楚な花々が見られる二所山田神社。****4, 伊藤さん所有2万㍎の「山野草のエキ」には350種の山野草。****5, 2万㍎の森に山野草とcaféを併設された「さくや」さん。**実は鹿野には、まだまだ紹介しきれない沢山の山野草の群生が多く点在、これだけヶ所に纏って存在するのは西日本でも有数だと思われま



弟見山のカタクリ群生(平成27年4月22日)

【活動は進化し更なる連携へ…】

■いっそ「地域まるごとブランド化」を進めようと考えようになりました。もちろん私達田舎者だけでは絵に描いた餅に成ってしまいますが、有難い事に4〜5年の活動で、徐々に支援者が集まり、今ではデザイナーや写真家・画家などの力も借りながら、行政の知恵も、マスコミの力も、住民の理解や協力も得て取組めば決して無謀ではないのではと考えるように成り、本気で「地域まるごとブランド化」と「里山に店舗増殖化」を同時に進めるつもりです。仮に前進すれば地域へ質の高い交流人口が増え、農産物が少しでも高く売れ、新たなブランド品も誕生、空家も宝の家に、徐々に小さな変化も好循環が始まり希望へと変わり始めるかも知れません。



山野草の保存について報道される(毎日新聞6月8日掲載)

【取組みと効果…】

- 私達の活動も5年目を迎え、…確かな手応えを感じています。
- ①鹿野の注目度が県内で高まっている
- ②若い客層が確実に鹿野に増えている
- ③鹿野で店を開きたいそんな前向きな人材が多くなる
- ④地域活性化に対する協力者が確実に増えている
- ⑤遠く広島や福岡からの固定客も増加傾向である
- ⑥「鹿野市」開催による連携の輪も広がる

【今後の目標は…】

- 今後の具体的活動は、(1)、店舗や事業所・パブリックスペース等に、統一感を持たせ雑木(コナラ)を地域に毎年5ヶ所以上に植え続け
- (2)、地域の山野草を保護し(1)(2)を同時発信する事で、里山の高付加価値を進め
- (3)、里山鹿野が癒し系・本物に繋がる起業家を誘致応援し、3年後には新たに10店舗以上のお店(起業家)を増やし
- (4)、新規に新たな店が開店する度に、鹿野お店マップを印刷し直し、県内外の店舗に置く事で鹿野への集客を促し
- (5)、将来広島や福岡へ里山・鹿野の売込み活動を開始します。(人・物・金・情報の循環を促進)

…雑木の向に物語!!

「鹿野の風」プロジェクト

☆いつか…県内外(広島や福岡)からも、多くの人々が心地よさを求め一日楽しめられる里山(鹿野)を築き、そこに住む人や育った人々が希望を持って生活できる、そんな目標に向かい5年10年の単位で具現化…、いつか皆さんと可能性を共有できる日が来るかも知れません。